

「日本自然保護大賞 2020」授賞記念シンポジウム - 受賞活動発表をオンライン配信 -

- 6回目の表彰となる「日本自然保護大賞 2020」。全国から寄せられた 111 件のご応募の中から、大賞 3 件、特別賞 3 件が高い評価を受け、受賞されました。
- 受賞者の皆さんから、地域の自然に根ざし、新しい発想や多様な協働で取り組まれている受賞活動の成果を発表いただきます。
- 建設会社が賞に選ばれたのは初、また山形県からの受賞者は初めてなど、本賞が各地の取り組みのさらなる活躍を後押しすることができました。

公益財団法人日本自然保護協会（会員約 2 万 4 千人、理事長：亀山 章）は、自然保護と生物多様性保全に大きく貢献した、子どもから大人まですべての個人や団体、企業、自治体等を表彰する「日本自然保護大賞」を毎年実施しています。第 6 回となる「日本自然保護大賞 2020」は、全国から寄せられた 111 件のご応募の中から大賞 3 件、特別賞 3 件への授賞が決定しました。このたび、受賞者の皆さんから、地域の自然に根ざした魅力あふれる取り組みの成果をご発表いただきます。どうぞ、ふるってご参加ください。

*この催しは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3/22（日）の開催を延期していたものです。

<https://www.nacsj.or.jp/award/>



【日時】

2020年 9月16日（水）
17:00～19:30

【参加方法】

下記 YouTube にてライブ配信をご視聴ください（無料、申込不要）。

<https://youtu.be/qagRGbyr6Fc>

■ 本リリースに関するお問合せ

日本自然保護協会 日本自然保護大賞担当：芝小路・鶴田

Tel: 03-3553-4101（平日 10:30～15:00） Email: award@nacsj.or.jp

【プログラム】

17:00 開会挨拶、総評

17:10 受賞活動の講評・発表

* 受賞者発表予定順（各 20 分予定。選考委員による講評および質疑応答を含む）

【特別賞：選考委員特別賞】 宮部 碧（愛知県）

自分にもできることはなにか～「猛禽新聞」をとおして伝えたいこと

【大賞：子ども・学生部門】 鈴鹿高等学校 自然科学部（三重県）

日本固有の淡水魚・ネコギギの保護と普及啓発活動

【大賞：教育普及部門】 元泉地域農地・水・環境保全組織運営委員会（山形県）

子どもたちとつなぐ、おらだ田んぼの魅力と田園地域の未来

【大賞：保護実践部門】 株式会社加藤建設（愛知県）

「エコミーティング」活動～自然を守る現場監督をめざして

【特別賞：沼田眞賞】 阿部 治（東京都）

「国連 ESD の 10 年」への取り組み等をととした環境教育の発展への貢献

【特別賞：選考委員特別賞】 日本野鳥の会東京（東京都）

葛西海浜公園・三枚洲、東京都初のラムサール条約湿地登録への貢献

閉会挨拶



<日本自然保護大賞とは>

自然と人のくらしの調和のとれた社会づくりの推進をめざし、自然保護憲章制定 40 周年にあたる 2014 年に「日本自然保護大賞」を創設しました。子どもから大人まですべての個人と団体・企業・自治体等を対象に、地域性、継続性、専門性、先進性、協働の観点から、日本の自然保護と生物多様性保全に大きく貢献した取り組みに、毎年賞をお贈りしています。これまで、のべ 519 件の応募に 36 団体・名に授与してまいりました。SDGs 持続可能な開発目標や生物文化多様性への関心・行動の高まりなどを踏まえ、3 つの部門に対して広く活動エントリーを募集しています。

■ 本リリースに関するお問合せ

日本自然保護協会 日本自然保護大賞担当：芝小路・鶴田

Tel: 03-3553-4101（平日 10:30～15:00） Email: award@nacsj.or.jp

- 大賞：保護実践部門 市民、学生、専門家、企業、行政などが立場と特性を活かし、具体的な自然保護の実績をあげた活動、研究
- 大賞：教育普及部門 自然観察をはじめ、広く自然保護を目的とした教育・普及活動
- 大賞：子ども・学生部門 小学生から高校生まで、子どもが主体的に取り組んだ活動、研究

<ご寄付によるご支援のお願い>

日本自然保護大賞は、企業によるご協賛や個人の皆様からのご寄付をもとに運営しています。ささやかな賞ではありますが、受賞・応募活動のさらなる活躍を後押しし、シンポジウムに参加された方が大きな刺激と感動をもらい、多世代の方々の魅力とパワーを見出す機会として注目されています。ぜひ、当事業へのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

【主催】 公益財団法人 日本自然保護協会

【協賛】 経団連自然保護協議会

【後援】 環境省、国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J)、国連生物多様性の10年日本委員会 (UNDB-J)、自然保護憲章普及協議会



<参考> 公益財団法人 日本自然保護協会について

自然保護と生物多様性保全を目的に、1951年に創立された日本で最も歴史のある自然保護団体のひとつ。会員2万4千人。ダム計画が進められていた尾瀬の自然保護を皮切りに、屋久島や小笠原、白神山地などでも活動を続けて世界自然遺産登録への礎を築き、今でも日本全国で壊れそうな自然を守るための様々な活動を続けています。「自然のちからで、明日をひらく。」という活動メッセージを掲げ、人と自然がともに生き、赤ちゃんから高齢者まで美しく豊かな自然に囲まれ、笑顔で生活できる社会を目指して活動しているNGOです。山から海まで、日本全国で自然を調べ、守り、活かす活動を続けています。

<http://www.nacsj.or.jp/>

■ 本リリースに関するお問合せ

日本自然保護協会 日本自然保護大賞担当：芝小路（しばこうじ）・鶴田（つるだ）

Tel: 03-3553-4101（受付時間：10時30分～15時） Email: award@nacsj.or.jp

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル2F

コロナ感染拡大防止の観点から NACS-J 事務局ではテレワークを推奨しています。そのため、お問合せはお手数ですが上記メールアドレスへご連絡ください。ご理解のほどよろしくお願いいたします。